

温もりある福祉、医療の充実

子どもの貧困に関する総合相談窓口の設置

976万5千円

子ども・若者総合センターにコーディネーターを配置して、子どもの貧困対策を含めた子ども・若者総合相談窓口を整備します。



▲子ども・若者総合相談センターは、福祉センター(平田町)の3階です。

こども園管理運営

8,312万6千円

新しく幼保連携型認定こども園として「平田こども園」を4月から開園します。



▲平田こども園(完成予想図)

子ども療育センター増築

9,097万2千円

乳幼児期の療育と成人期までの発達相談が一つの場所で行えるように、同センターを増築して継続したサポートを行います。



▲現在の子ども療育センター(平田町)

福祉医療費助成 特定健康診査等 市立病院医療機器整備 (放射線治療器)

7億715万円
7,746万3千円
4億円
(債務負担行為限度額)



◀市立病院では、平成30年度にがん治療の放射線治療器(リニアック)を更新するため、機器の選定と契約を行います。

保育所職員の人材確保 940万9千円
子どもたちの居場所づくり 316万円
ひとり親家庭等生活向上 178万3千円

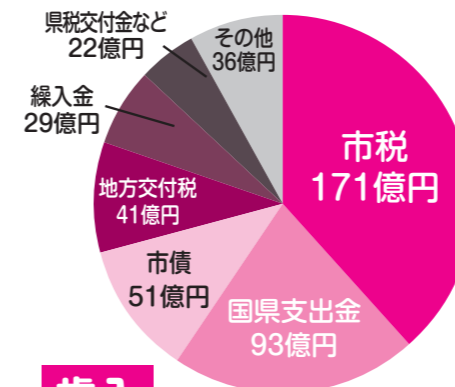
- 小1すこやか支援** 1,588万3千円
小学一年生が学校生活になじめるように、細やかな指導をするため支援員を配置します。
- 地域未来塾** 235万2千円
地域住民、教員OB、大学生やNPOなどの協力のもと、学習を深めたい中学生に対して学習習得の場を作ります。
- スクールソーシャルワーカー活用** 232万5千円
学校にスクールソーシャルワーカー(福祉の専門資格を持っている人)を配置・派遣して、子どもを取り巻く環境の調整・改善を図ります。



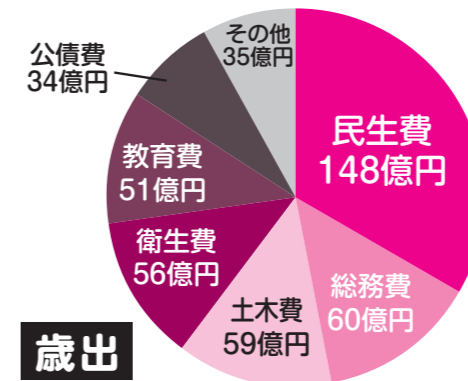
特集 平成29年度

予算

お金の使いみちは
平成29年度の彦根市の予算が決まりました。
今回の特集では、温もりある福祉政策、人間性を育む教育政策、住めるまち・働けるまちへの産業経済政策を重点として、新規・主要事業の一部をお知らせします。
なお、平成29年度の一般会計の予算は過去最大となり、前年に比べて3・5%の増加になりました。
問い合わせ先 困財政課 ☎30・6107番、FAX 22・1398番



歳入



歳出

(いずれのグラフも一般会計)

- 民生費 福祉や医療の充実
- 総務費 市役所の運営
- 土木費 道路や橋、公園整備
- 衛生費 環境・衛生の向上
- 教育費 教育・文化の振興
- 公債費 市債の返済
- その他 消防、産業振興ほか

予算総額

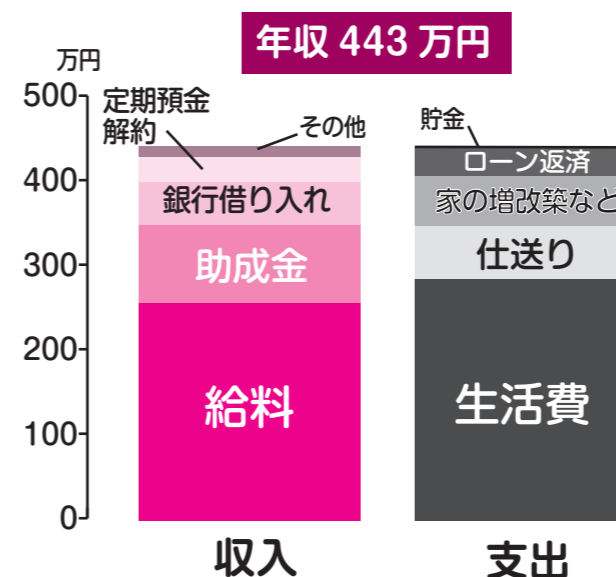
890億3,364万6千円

一般会計 442億8,000万円

特別会計 276億2,129万円

企業会計 171億3,235万6千円

家計にたとえてみると…
※一般会計 442億8千万円の1万分の1



収入

	金額(万円)
給料	257
助成金	93
銀行借り入れ	51
定期預金解約	29
その他	13
市税、交付税など	257
国・県支出金	93
市債	51
繰入金	29
財産収入など	13
合計	443

支出

	金額(万円)
生活費	286
仕送り	62
家の増改築など	60
ローン返済	34
貯金	1
人件費・物件費・扶助費	286
繰出金	62
投資的経費	60
公債費	34
積立金	1
合計	443

人間性を育む教育の充実

